

令和6年度 後期始業式

みなさん、おはようございます。

今日から、後期がスタートです。前期との間に休みがなく、実感がわかないかもしれませんが、自分の気持ちにスイッチを入れ、後期に向けて、前期のことを反省し、改善していけることは改善できるように自分を奮い立たせてほしいと思います。

さて、今日はビジネス用語の VUCA の時代についての話をします。みなさんも将来、必ず就職はしますよね。ところで VUCA って聞いたことはありますか。

今や AI 技術は大幅に進歩し、今後、先行き不透明で予測困難なブーカ (VUCA) の時代と言われています。これは、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) のそれぞれの頭文字から取った造語です。

変動性とは、例えば、終身雇用制の崩壊です。テレビ CM でも転職サイトの情報が当たり前のようになっています。

次に、不確実性。新型コロナウイルスの感染拡大が象徴的ですが、この先何が起こるか分からないということです。現に石川県能登地方では、正月に能登半島沖地震が起こり、先日も能登豪雨に見舞われるといった自然災害も不確実性を増しています。物事を自分なりに意味づけして、主体的に行動するスキルや経験が今まで以上に求められます。

そして、複雑性。IT の急速な進化によって、地域や価値観の異なる人たちが繋がる機会が増えました。リモートで多くの人々が繋がる、そういったことがその例です。このようないろんな人が係わる複雑な環境・要素に向き合いながら、どうスキルを高めていくか、経験値を増やしていくかが問われています。

最後に曖昧性です。IT が価値観を大きく変化させ、複雑性を伴う変化も拡大しています。待っていても正解は降ってきません。前例がなければ自分たちで前例を作っていくしかありません。起こっている変化、事柄、問題、課題について、自分なりにどう向き合い、どう答えを出していくかが問われます。

そんな先行きが不透明で予測困難な VUCA の時代と言われています。それでは、私たちはどのような力が必要なのでしょう。それは、次のように言われています。

- 1 デジタルを使いこなせる力・・・これからの時代、IT 技術が必要です。学校の授業でも大いに活用していますね。私が高校生の時なんて想像もできないことが今現実です。
- 2 他者を受け入れる力・・・複雑性でも話をしました。自分とは異なる特性を持つ人の考え方・異なる能力を認め、その人達の成功パターンを学んで受け入れる力。状況に合わせて、相手を理解して受け入れる力が必要になります。あの人が羨ましいではなくて、自分もそのことを吸収し学んでいく力です。
- 3 自ら問いを立て、答えを探す力・・・これは、総合的な探究の時間で行っていますね。水高チャレンジもその一つです。ここでは主体的に考え、他の人と一緒に進める中でコミュニケーション力を養いつつ、壁にぶつかっても積極的に挑戦・行動し、自ら問題を解決する力を身に付けることを目標としています。

このような力を高校時代に身に付けましょう。それには物事をやらされるのではなく、自分で

理解し、主体的に行動することを総合的な探究の時間以外の生活の中でもたくさん経験していただきたいと思います。もしかすると失敗するかもしれません。失敗して多くを経験してくださいという話は、夏休み前の全校集会でもしました。一つ伝え忘れていたことがあります。それは周りが誰でも失敗することを当たり前だと理解して、安心して失敗できる環境をつくってあげることです。それなら自信を持って失敗できるはずです。恐れることなく、いろんなことにチャレンジして欲しいと願っています。

先行き不透明で予測困難な時代、VUCAの時代、覚えておいてください。

それでは、最後にみなさんに報告があります。ここ2年、語学研修として2月に希望者を募ってアメリカシアトルにある、エドモンド高校を訪れていますが、この度本校と姉妹高の関係を結ぶことになりました。直ぐにはありませんが、今後、双方向での交換留学やその他の交流を実施していくことになると思います。既に希望は取りましたがペンパルを実施しますので、まずは初陣をきってよろしく願います。

これで、本校の姉妹高は、アラスカにあるマウントエジカム高校と2校になりました。

今日から後期スタート、3年生は進路に向けてラストスパート、1、2年生は、自分の進路実現のために、時間を無駄にすることなく1日1日を送ってください。

以上で終わります。